



指導性によって主体性を育む

9月14日（月）に、なかよし班遠足がありました。附属小学校の特徴的な行事で、なかよし班ごとに5つの目的地に分かれ活動を創ります。新しく本校に着任した教員の中には、異学年で別々の場所に行くことに驚く者もいます。コロナ禍の中でようやく実施できた本年度初の学校行事は、気候にも恵まれ仲間と過ごす楽しさを一層感じた時間となりました。

この遠足を含む「なかよし班活動」のねらいは、主体的・対話的にコミュニティを創造する力を育むこと。とりわけ我々は『主体性』を育むことを大切にしています。

主体性という言葉辞書で調べると「自分の意志・判断によって、みずから責任をもって行動する態度や性質」とあります。経済産業省発表の「人生100年時代の社会人基礎力」の中でも重要視されており、誰かの出した解に従うのではなく自分で考えて行動する主体性は、変化が激しく先行きが不透明なこれからの時代において益々必要とされることでしょう。

我々教員の職員会議では、しばしばこの主体性を「どう育むのか」ということが議論の中心になります。これは大変難しく簡単に答えが出ることはありません。しかし大切にしたい理念があります。それは「教師の指導性によって、子供の主体性を育む」ということ。何でも子供に決めさせることは、「放任」であり、教師の指導性が発揮されてこそ、子供の主体性をよりよく育むことができると考えています。しかし教師が決めすぎると、たちまち子供たちの主体的な姿は消え失せてしまいます。ですから我々教員は、子供たちに「何を」「どのように」考えさせるのか、常日頃から様々な場面で考え、悩み、議論を重ねています。

このなかよし遠足でも主体的な姿がたくさん見られたようで、遠足後の職員室には自分の班の子供たちがいかに主体的であったのか、それは楽しそうに話す先生たちの姿がありました。

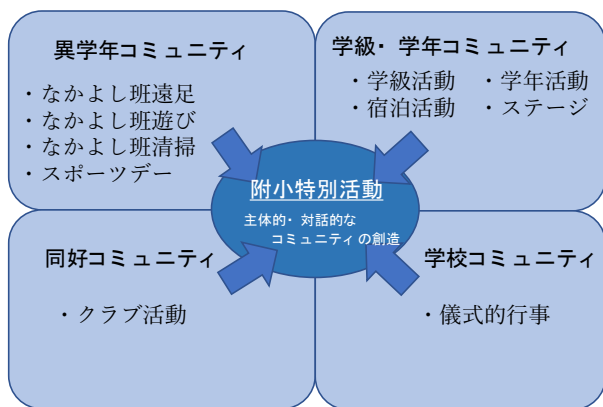
「子供の主体性をいかに育むか」

この簡単ではない重要な問いの解を、是非ご家庭でも考えてみてください。

附属小学校の特別活動

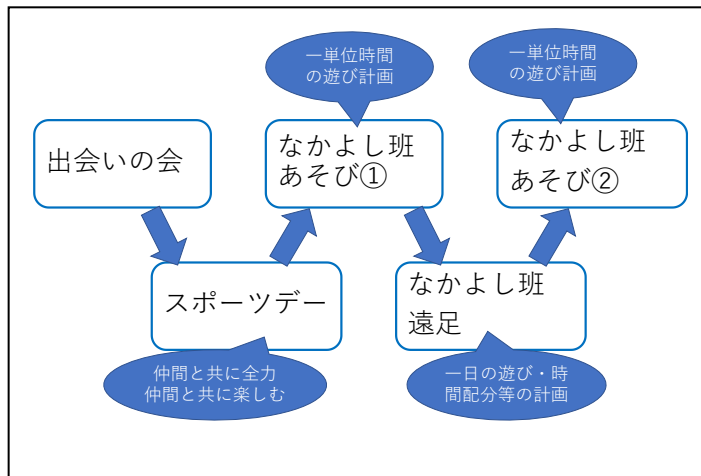
「特別活動」と聞いて思い浮かべる学習は、どのようなものがあるでしょうか。遠足、運動会、宿泊活動などでしょうか。実はこの他にも、委員会活動やクラブ活動、各学級の係活動、始業式や終業式、さらには入学式や卒業式も「特別活動」の学習として位置付けられています。これらは一見すると全く異なる活動のように思われますが、子どもたちが共通して学んでいることが主に三つあります。それは、①多様な人と協働するよさを感じる、②他者と話し合い合意形成を図ったり意思決定したりすること、③集団活動で学んだことを自分の生き方に活かすことです。つまり、「特別活動」では、主体的・対話的に様々なコミュニティを創造することに取り組む力を養うことが目指されているわけです。

さて、附属小学校では、「特別活動」の時間を通して、左図のように、異学年コミュニティ、同好コミュニティ、学級・学年コミュニティ、学校コミュニティを創造しています。



それぞれのコミュニティの創造に向けて、子どもたちは様々な活動に取り組んでいます。その中でも附属小学校として特徴的なのが異学年コミュニティの創造です。主な異学年コミュニティの創造の場である「なかよし班活動」では、毎年度、班遊びや班遠足、班清掃に取り組んできました。今年度はコロナ禍で開催が叶いませんでしたが、スポーツデーも昨年度より異学年コミュニティの創造の場として位置付けてきました。今回は、この「なかよし班活動」の具体とそこでどのようにコミュニティを創造する力を育てているのかについてお伝えいたします。

「なかよし班活動」では、右図のように、一年間の中で少しずつコミュニティを創造していけるよう、各活動のねらいに段階をもたせながら支援を行っています。子どもたちが自らの手で様々な学年の友達と協力しながらコミュニティを創造するためには、多くの時間が必要となります。一朝一夕にはいきません。子どもたちが主体性を十分に発揮できるようステップを刻みながら、そして対話的に取り組める時間を確保しながら、一年間を通してコミュニティを創造していけるよう支えています。さらに特徴的なのが、附属小学校における「なかよし班」の組織の仕方です。1～3年生、4～6年生の間は同じコミュニティに所属できるようにしています。つまり、3年生から4年生に進級する時のみ班替えを行います。毎春、新1年生と新4年生の子どもたちは、「新しいメンバーとして既存のコミュニティに入る経験」を、そしてその他の学年の子どもたちは「新しいメンバーを迎え入れる経験」をすることになります。このどちらの経験も、コミュニティを創造する力を養う上で非常に大切な機会になっていると考えています。



さらに、「なかよし班活動」全体を大きく支えているのが各班の班長で組織している班長会議です。「なかよし班活動」は年間を通して活動が連なっているため、班長会議も年間を通して行っています。一年間をかけて、班長の子どもたちを長期的、継続的に支援することで、学校全体をリードする子どもたちの主体性を育てています。今年度の6年生の班長も、実施できた活動に限りがあったにも関わらず、着実に班長としての成長、変容が見られてきました。このような班長の姿を間近で見ながら、バトンを受け継いでいこうとしているのが5年生の副班長です。先日の班遠足が終わり、いよいよこれからは5年生が各班をリードしていくこととなります。5年生を支えようとする6年生と、6年生の姿を追う5年生。重層的になかよし班活動を支えようとする高学年の姿が楽しみ、後期のなかよし班活動がもうすぐ始まります。

日	曜	10月の行事予定	11月の主な行事予定
1	木		6日(金) 諸費振替日
2	金		13日(金) 前期終業式
3	土		16日(月) 後期始業式
4	日		諸費振替日
5	月		16日(月)
6	火	諸費振替日	~19日(木) 個人懇談
7	水		6年生進路相談日
8	木	中等教育学校進学説明会 13:30-	(3者)
9	金		28日(土) ステージ
10	土		30日(月) 代休日
11	日		
12	月		
13	火		
14	水		
15	木		
16	金	諸費振替日	
17	土		
18	日		
19	月		
20	火		
21	水		
22	木		
23	金		
24	土		
25	日		
26	月		
27	火		
28	水		
29	木		
30	金	保護者懇談会	
31	土		

